

郵政産業ユニオン TOKYO

● 発行 ●
 郵政産業労働者ユニオン
 東京地方本部
 発行責任者 田中 孝史
 〒104-0031 中央区京橋 3-6-3
 京橋通郵便局 5F
 TEL・FAX 03-3535-5447
 piwutokyo@yahoo.co.jp

怒りのストライキを貫徹！

19春闘

新東京で10名・全国で15支部



ストライキ突入集会・新東京局前

当日は朝からの行動で、まずは葛飾新宿局前において、春闘ストライキ支援集会が開催されました。福田地本書記長の司会進行で始まり、小泉支部長から主催者挨拶がありました。中央本部から、この間のストライキへ至る交渉経過報告があり、会社の不誠実な対応が明らかになりました。

3月19日、春闘の第二波の行動として全国で、13拠点、15支部でストライキが取り生まれ、65名(ゆうメイト17名)がストに立ち上がりました。東京でも新東京支部の10名の仲間がストライキに立ち上がりました。

4年連続のベアゼロ回答

その後、東京地評、東京全労協から連帯の挨拶を受け、「4年連続のベアゼロはあり得ない」と会社の対応を非難する発言がありました。また、20条裁判の原告である浅川中央執行委員からも連帯の発言がありました。また、かけつけた各支部から支援の発言を受け、シユプレヒコールを行い、集会は終了しました。

11時45分より、本社前集會が行われ、関東地本の仲間と合流しました。集會では日巻中央委員長が挨拶し、ストライキで闘う意義を表明しました。全労連、全労協から連帯と共闘の挨拶を受け、シユプレヒコールで我々の怒りの声をぶつけてきました。

13時45分から新東京支部でストライキに入る10名の仲間の支援集會が開催され、野上支部長の司会進行のもと、14時にストに入り集會に参加する仲間

が局舎から現れた際には拍手で迎えられました。経過報告、連帯の挨拶の後、10名の仲間が紹介されると、全員生き生きとした表情をしていました。シユプレヒコールの後、15時から再び就労する10名を見送り、集會は終了しました。

19春闘では全国で13拠点、15支部でストライキが取り生まれ、65名(ゆうメイト17名)がストに立ち上がりました。



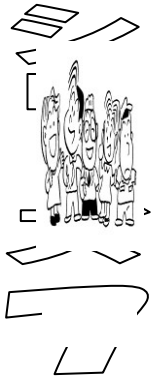
上自肅 新規客、苦情受け4月から(西日本新聞3月25日付)、保険営業に関する苦情は昨年までの3年半で14000件超、うち約6割が高齢者に関するもの。17年から高齢者への営業ルールを厳格化してきたが苦情が減らないことから勧誘自体をやめることに

▼「不適切営業が減る」との一方、「厳しいノルマを課せられている現状を変えないと根本的な解決にはならない」といった社員の意見も▼もう一つは「置き配苦戦」で3月18日から指定をすればゆうパックを玄関先などに置いておくサービスで、実証実験では再配達率が約6割減少し、人手不足の解消になるはずが開始一週間たっても利用者が現れず、足踏み状態▼保険はあるが、盗難やセキュリティ、防犯面から二の足？との声が▼会社の利益優先の姿勢、慢性的な人手不足の実態が読み取れるニュースである。(M)

京東

最近のニュースから。「日本郵便が保険勧誘80歳以上

各種人事制度の改正について



正社員の 年次有給休暇 発給日数の見直し

★年次有給休暇発給日数の見直し(正社員)

・10月以降に採用される正社員の年次有給休暇の発給日数は勤続年数に応じて発給されます。

※年度途中の採用者、復職者の日数も変更になります。

勤続年数0年の短時間勤務職I型以外の社員は15日で、その後1年ごとに1日ずつ増え5年以上で20日になります。短時間勤務職I型の社員は8日で2年目は9日、3年4年目で10日5年目以上で11日になります。

◆会社が見直しの根拠とする「離職率・貢献度」について、本部は「ノルマ至上主義、パワハラ蔓延が離職率の高さの原因」「労働時間縮減にも長期雇用にもつながらない」と撤回を求めました。

会社は、「離職率については自己都合もあり個々の事情がある」とすり替え、「貢献度については勤続期間そのものが貢献度でもある」などと回答しました。

本部が「離職率について全体像が分からないまま引き下げる意味が分からない」「他企業も段階的な付与というが、低いところに合わせる必要はない。有為な人材確保にもならない」と重ねて主張したのに対し、会社は「そこだけ見れば不利益かもしれないが、総合的にプラス面も見て頂きたい」と答えました。

本部は「ここまでの議論でプラス面があるか」と反論しました。

労働条件引き下げの撤回を！

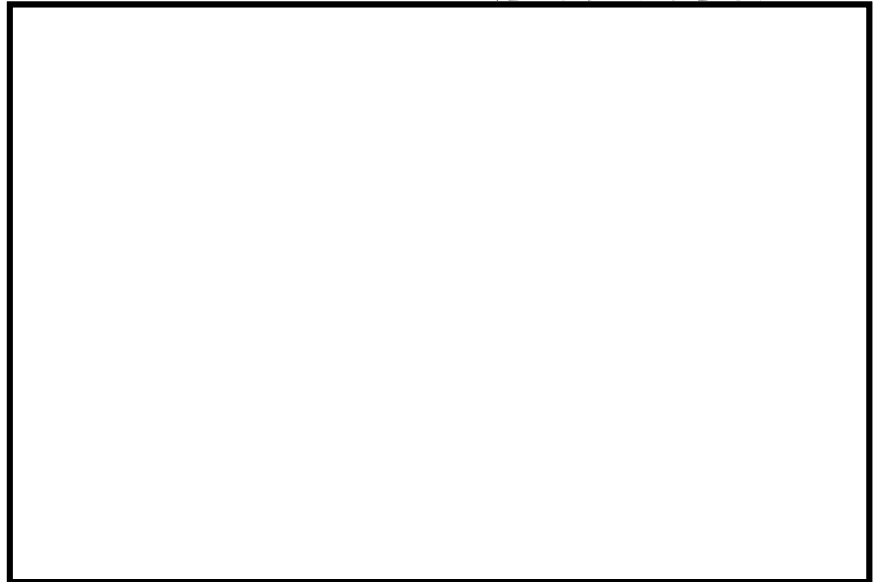
11日	地本執行委員会	4月5日	けんり春闘
3日	憲法集会	6日	地本執行委員会
5月1日	第90回メーデー	12日	ユニテッド闘争団
19日	総がかり国会行動		銀座デモ
20日	第3回支部長会議・春の学習会		

当面の行動日程

春の学習会

4月20日(土) 14時15分～

東部区民事務所



地本春闘キャラバン行動

3月4日、雨の中の銀座北郵便局前

春闘キャラバン行動

新宿北・銀座局で

東京地本は春闘第一波行動で、3月4日悪天候の中キャラバン行動を、朝7時15分新宿北郵便局から開始しました。地本春闘ビラの配布を行いながら、田中地本委員長、中央本部安達書記次長の春闘交渉状況報告、新宿北支部飯野支部長よりあいさつを受けました。連帯のあいさつを参加した大田・新東京・銀座の3支部がおこない、シュプレヒコール・団結ガンバロ―で終了し、次の銀座郵便

便局へ移動しました。10時から銀座郵便局で行動では、田中地本委員長、中央本部から春闘交渉状況報告を谷川中執、銀座支部竹俣支部長からのあいさつを受け、参加支部から東京特定局・東部・練馬・港品川の4支部が連帯のあいさつをおこないました。最後に大きな声でシュプレヒコール・団結ガンバロ―で閉めくり、本社前集会・院内集会へ合流して一日行動を行いました。新宿北局前には25名、銀座郵便局前は40名の参加がありました。

